

亜鉛めっき鋼板とセラマックス#1000ALをCASSによる比較データ

■試験内容

- ・試験方法 JIS H8502 7.3に準拠
※NaCl 50g/L、CuCl₂・2H₂O 0.26/Lを酢酸にてPH3~3.2に調整した。
- ・試験期間 14日間
- ・試験体
 - (1) 溶融亜鉛めっき鋼板 HDZ-55(日本テストパネル製)
 - (2) SSブラスト鋼板(日本パネル製)にセラマックス#1000ALを塗装。
エッジシール、バックシール処理
塗付量150g/m²、膜厚(乾燥)75μm

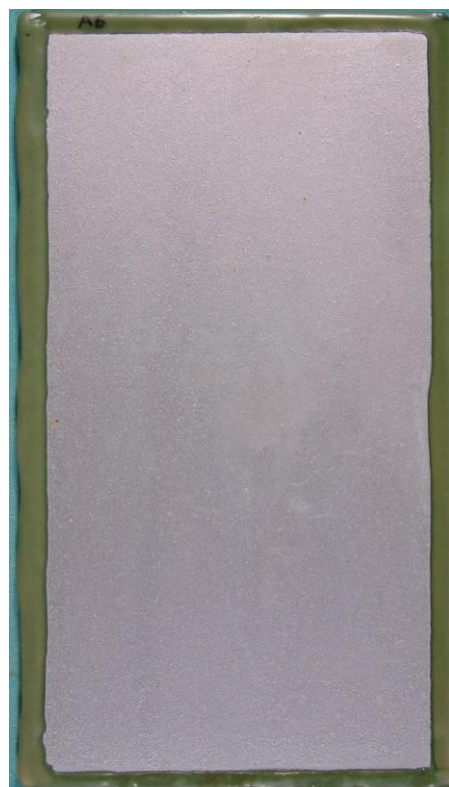
■14日間試験結果

- ・試験体(1) 白さび・赤さび発生
- ・試験体(2) さびの発生はなし

試験体(1)



試験体(2)



註 CASS試験の14日間は屋外暴露の20年間に相当するとされています。